

令和7年度 船形の郷 福祉サービス評価(自己評価)是正・改善結果

宮城県船形の郷

項目	自己評価			改善・是正計画	いつまでに	改善結果	
	総合評価	改善項目	課題				
1	理念・基本方針 (1)	A-1 B-0 C-0 項目数 1項目					
2	経営状況の把握 (2~3)	A-2 B-0 C-0 項目数 2項目					
3	事業計画の策定 (4~7)	A-4 B-0 C-0 項目数 4項目					
4	福祉サービスの質の 向上への組織的・計画的な取組 (8~9)	A-2 B-0 C-0 項目数 2項目					
5	施設長の責任とリーダーシップ (10~13)	A-4 B-0 C-0 項目数 4項目					
6	福祉人材の確保・育成 (14~20)	A-5 B-2 C-0 項目数 7項目	設問14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	人材確保の取組を行っているが、採用目標の達成に至っていない。	・臨時職員の募集を継続し、人材確保に取り組んでいく。 ・適切な人員配置に取り組んでいく。 ・適切な評価、面談、コミュニケーションをおし早期離職を防止する。	12月	・臨時職員の募集を継続し、ハローワークと連携した見学会のほか、新聞広告の活用、求人情報のポスティングなどを実施し、臨時職員の採用につながった。  ・管理監督者が、職員一人ひとりに合わせたコミュニケーションを図り、良好な人間関係及び職場環境づくりに努めた。 また、職員間でも適切な報連相を心掛け、協力し合いながら業務に取り組んでいる。
			設問15 総合的な人事管理が行われている	人事基準や総合的な仕組みについて、職員への周知が不十分で、職員個人が将来の姿を描きにくい。	・法人の職員研修計画や人事基準に関する情報を改めて周知する。 ・職員研修計画・評価シート及び人事考課ヒヤリングをおとして、職員一人ひとりの目標の確認・評価を行う。		・法人の職員研修計画及び人事異動方針を改めて周知することで、職員がキャリアプランを形成するための参考となった。  ・職員一人ひとりの目標や意向の確認とあわせて、適切な評価、目標管理などを行い将来の姿を描けるように働きかけを行っている。
7	運営の透明性の確保 (21~22)	A-2 B-0 C-0 項目数 2項目					
8	地域との交流、地域貢献 (23~27)	A-4 B-1 C-0 項目数 5項目	設問27 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	地域住民との関係性が以前より希薄になっており、地域コミュニティの活性化に十分に貢献できていない。 地域の団体や自治組織、地域住民と接する機会を増やす取り組みが必要。	・積極的に地域行事への参加や社会体験に取組む。 ・地域連携推進会議をおとして、施設を理解してもらう。	12月	・地域の理髪店や飲食店などを積極的に活用し、社会体験に取り組んだ。  ・ベルマークを小学校に届ける、使用済カートリッジを家電量販店へ持ち込む、育てた花や野菜を児童館等へ寄贈するなどの取り組みを行った。 児童館のクリスマス会に招待されるなど、利用者と地域との交流の機会につながった。  ・地域住民向けの介護予防教室とあわせて施設の見学を実施することで施設の周知が図られた。  ・地域連携推進会議を開催し、地域住民への施設利用や利用者に関する理解の促進、地域との関係づくりなどについて、意見交換を行うことができた。
9	利用者本位の福祉サービス (28~39)	A-12 B-0 C-0 項目数 12項目					
10	福祉サービスの質の確保 (40~45)	A-6 B-0 C-0 項目数 6項目					
11	利用者の尊重と権利擁護 (46~47)	A-2 B-0 C-0 項目数 2項目					
12	生活支援 (48~60)	A-13 B-0 C-0 項目数 13項目					
13	発達支援 (61)	非該当 項目数 1項目					
14	就労支援 (62~64)	非該当 項目数 3項目					
合計		A — 57 B — 3 C — 0 非該当 — 4					